

新型コロナワクチン接種を多言語でサポート

古賀版指さしコミュニケーションシート&翻訳サービス「VoiceBiz[®]」で不安軽減

本市の住民基本台帳に記載される外国人は年々増加しており、特に技能実習生の増加は顕著です。国籍にかかわらず外国にルーツを持っている人は、言葉が通じないことでコミュニケーションがとりにくいという悩みを抱えていることが多いです。

新型コロナワクチン接種対象の拡大に伴い、外国籍市民などが安心してワクチンの接種ができるよう、多言語でのサポートが重要です。

そこで、新型コロナワクチン集団接種会場でのサポート手段として、古賀版指さしコミュニケーションシートや翻訳サービス「VoiceBiz[®]」などを活用することで、接種前から、接種当日、接種後と、各段階に応じたサポートを実施し、不安の軽減を図ります。

※「VoiceBiz[®]」：凸版印刷株式会社の翻訳アプリと翻訳エンジン

■事業内容など

《接種前》

- ・外国籍市民には、接種券配布時に、別途案内文を同封（多言語版予診票を事前に記入できるようにサポート）

《接種当日》

- ・新型コロナワクチン接種会場で、外国人案内を想定した定型文搭載の「VoiceBiz[®]」を予診ブースと待機ブースに配備
- ・想定される副反応症状を説明者が指さしで伝えられる「古賀版指さしコミュニケーションシート」（イラスト入・7言語）を会場内数か所に配備

《接種後》

- ・想定される副反応症状を「すまっぼん！」で分かりやすく掲載することで、医療機関受診時等に、指さしで症状を伝えることが可能。

■事業への協力

・「指さしコミュニケーションシート」

翻訳は、県立玄界高等学校の生徒をはじめ、市内在住の技能実習生などの協力を得て作成しています。また、分かりやすいイラストは、市職員の協力によるもので、制作に携わった皆さんの温かい想いが詰まっています。

・音声サービス「VoiceBiz[®]」

新型コロナワクチン接種会場の円滑な運営を多言語で支援するため、凸版印刷株式会社から、社会的価値創造の一環として、無償で提供を受けています。

【問い合わせ先】

古賀市役所 まちづくり推進課 国際交流・多文化共生係
担当：飯尾・洪田 電話：092-942-1165